

中国最大のゲームショー「ChinaJoy2017」現地レポート

2017年7月27日～7月30日 上海新国際博覧中心

株式会社クララオンライン
コンサルティングチーム

今年で15回目となる「中国国際数碼互動娛樂展覧会(ChinaJoy)」が、今年も上海で開催された。期間は7月27日から7月30日までの4日間で、のべ来場者数は過去最高の34.27万人を記録した。また土曜日の29日には、当日だけで12.1万人が訪れており、こちらも過去最高となった。回を重ねるごとに規模を拡大しているChinaJoyは、今回BtoC向けに11ホール、BtoB向けに4ホールを使用し、展示総面積は東京ドーム3.6個分もの広さがある。BtoCでは国内外から約300社、4,000タイトルが出品されたほか、BtoBではおよそ600社、うち4割ほどが海外からの出展だった。日系企業ではシャープ、バンダイナムコ、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、アドウェイズ等が出展している。今年は例年に比べ会場内の警備が物々しい印象を受けたが、ゲームファンの関心の高さを目の当たりにするとともに、中国のゲーム市場が向かう方向を確認することができた。

1. 展示規模をさらに拡大して開催



BtoCでは支付宝(Alipay)で購入する電子チケット用入場レーンが増設され、比較的スムーズに入場できていた。

-1-

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行っていただくようお願いいたします。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

2. 大手の巨大ブースでは今年も人気ゲームを展開

● 網易 (NETEASE) ・ BLIZZARD



網易は今年もブースの一部を BLIZZARD として展開。この数年人気が続いている PC ゲーム「梦幻西游」、「大话西游」、「倩女幽魂」、モバイルゲームでは「阴阳师」、「天下」、「率土之滨」、3D 対戦ゲーム「三国志」、ハンティング系アクションゲーム「猎魂觉醒」等を出品。また参考出品ながら、日本の人気ライトノベル「とある魔術の禁書目録(中国語タイトル：魔法禁书目录)」の映像も公開していた。

● 盛大 (Shanda Games)



盛大は 16 タイトルを出品。日系タイトルでは「Love Live 学園偶像祭(ラブライブ!)」や「勇者斗恶龙 X(ドラゴンクエストX)」が出品され、特にラブライブ!の試遊には長い列ができていた。

CLARA ONLINE China Internet Report 2017.8.1

● 空中網



戦争系ゲームを得意とする空中網は、今年もイカツメなブース。陸海空をテーマにした戦争ゲーム「坦克世界」、「战舰世界」、「战机世界」の試遊エリアをそれぞれ用意した。今年リリースの新作のうち、装甲車で戦う「装甲战争」、戦艦を操る「战舰猎手」には、若い男性を中心に常に長い列ができていた。

● JJ 比賽



今年はいまいちブースのテーマが伝わってこなかった JJ 比賽だが、明るく広々とした試遊コーナーは健在。カジュアルゲーム故か午後になるほど試遊機で遊ぶ人が増え、落ち物パズルゲームには観客の山が。

● 巨人網絡



今年もステージで人気カジュアルゲーム「球球大作战」や「仙侠世界 2」の大会を開催。ステージ前には終日多くの人が集まって声援を送っていた。日系 IP では、聖闘士星矢のモバイルゲーム「圣斗士星矢:小宇宙幻想传」が出品されており、キャラクターのパネルと一緒に写真を撮る姿もよく見られた。

CLARA ONLINE China Internet Report 2017.8.1

● 完美世界 (PERFECT WORLD)



今年はおおよそ 30 タイトルを出品した完美世界。初日は 10 時よりステージでオープニングセレモニーが行われ、同社の蕭泓 CEO が挨拶する場面も。モバイルゲームでは「诛仙手游」、「梦间集」、「射雕英雄传手游」、「轮回诀」、「武林外传官方手游」、「火炬之光」、「最终幻想:觉醒(Final Fantasy Awakening)」等を出品したほか、e スポーツで人気の「DOTA2」、「CS:GO」「创世战车」の試遊機も揃えていた。

● 騰訊互動娛樂 (テンセント)



終日大勢の人が集まっていた騰訊ブース。モバイルゲームを 14 タイトル出品し、話題の「王者荣耀」も試遊機が用意された。初音ミクのモバイルゲーム「初音未来: 梦幻歌姫」の展示や漫画アプリの紹介コーナーも。

CLARA ONLINE China Internet Report 2017.8.1

● 西山居



今年も武侠モノを中心に展示する西山居のブースでは、人気モバイルゲーム「剣網3」などの世界観が楽しめるイベントを用意。一方のステージでは、子供たちによる武侠コスプレショーも行われ大歓声だった。

● 蓋娅互娱 (GAEA)



「自由之战2」、「甲铁城的卡巴内瑞」、「巫师之昆特牌」の3タイトルを引っ提げての出展となったGAEA。「甲铁城的卡巴内瑞」は日本のアニメ「甲鉄城のカバネリ」のモバイルゲームで、今年中のリリースを目指しているという。ステージでは中国のアイドルグループ「SS IDOL」が、同アニメのエンディングテーマ曲「ninellie」を歌って会場を盛り上げた。

CLARA ONLINE China Internet Report 2017.8.1

● 三七互娛



今年は宇宙船を模したブースだという三七互娛は、根強い人気の PC オンラインゲーム「天堂 2」、「金装传奇」、「魔域」、「楚乔传」等を出品。日系 IP では「ONE PIECE」のオンラインゲーム「航海王 OL」を公開しており、会場スタッフの話では 8 月 8 日から β テストを始める予定だという。

● 阿里遊戲



アリババグループの阿里遊戲は 2016 年に設立されたばかりだが、今回初めて「卧虎藏龙贰」、「自由之战 2」、「剑王朝」、「刀剑兵器谱」をプレイアブル出品した。今年は比較的小規模での出展だったが、来年以降さらに勢いを増しそうだ。

● EA



毎年恒例の出品となっている「极品飞车 ONLINE」や中国版シムシティ「模拟城市 我是市长」、「FIFA Online3」がやっぱり人気を集めていた EA ブース。もちろん今年も本物のスポーツカーが展示され、シムシティのビルを模したオブジェとあわせて写真スポットに。ブースにいるのはほとんどが若い男性で、試遊機の画面を覗く人の山があちこちにできていた。

CLARA ONLINE China Internet Report 2017.8.1

● バンダイナムコ上海



去年に引き続き「NARUTO」、「ONE PIECE」、「ドラゴンボール」、「ガンダム」といった日本の有名IPタイトルを中心に展示。スタッフが黄色のハッピー姿なのも目立っていた。ガンダムの試遊は開場してすぐに30分待ちの列になる人気で、アニメのシーンを模した各コーナーは写真を撮る若者で常に賑やかだった。

● PlayStation



今年はPlayStation VRの試遊コーナーを2階建てにして来場者を迎えたプレステブース。PS4の試遊も充実しており、中国での発売が待たれる中国版「NBA2K17」、「纠缠之刃」、「纳克的大冒险：双英与古代兵团」、「罪人」、「新大众高尔夫(みんなのゴルフ)」等もプレイすることができた。また今年も引き続きブースの一角でPS4やPlayStation VRの販売が行われ、多くの人が購入の列に並んでいた。

-7-

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行ってください。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

● XBOX



今年も PlayStation と向かい合わせで出展した XBOX。中国初お披露目となる Xbox One X とプレイアブル展示としてはこちらも中国初の「极限竞速 7」の注目度は高く、終日試遊の列ができていた。ほかにも「铁拳 7」、「纠缠之刃」、「光环战争 2」、「非常英雄」等の試遊があり、男性を中心に多くの人を楽しんでいた。

3. 通信キャリア・決済サービスのブース

中国移动系の咪咕、中国联通系の沃遊戯、中国电信系の WEFUN とともに今年もステージイベントやコスプレショーを開催。試遊機こそ少ないが、どのブースにもぎわっていた印象だ。



4. 動画配信・ライブ配信サービスのブース

熊貓直播、触手、戦旗直播、全民直播、西瓜視頻、愛奇芸、小米直播、bilibili 等、たくさんの動画配信サービスやライブ配信サービスが出展していたが、どこのブースもほとんど展示がなかったのは残念。一部のブースではステージイベント等を会場からライブ配信していたが、去年のような勢いと積極さはない様子。



5. 周辺機器ブランドのブース

● AORUS



GIGABYTE 傘下のゲーム用ハードウェアブランド。今年は様々なタイプの VR 機器で来場者の心を掴んだ。

● SHARP



SHARP のロゴの下には小さく「POWERED BY FOXCONN」の文字が。4K テレビの美しさを紹介するコーナーでは Nintendo Switch の試遊が用意されていたほか、SHARP 製ブラウン管テレビと歴代の家庭用ゲーム機を並べたコーナーでは、懐かしの初代ファミコンやセガサターンなどで遊ぶことができた。

● NVIDIA



ゲームに特化した「Max-Q」を採用したノート PC を多数用意しており、スタッフが性能を説明する様子も。

● 高巨創新 (HIGH GREAT)



今年唯一のドローン展示ブース。スマートフォンを使った操作体験ができ、試遊待ちの列は男性ばかり。

6. 今年も VR 体験が大人気

PlayStation VR はもちろん、中国メーカーからもたくさんの VR の試遊機が出ていた。座ったまま VR ゴーグルをつけて握ったコントローラーを動かすだけのものから、ジェットコースターに乗っているかのような体験ができるもの、体を吊られることで走りながら戦場バトルが楽しめるもの、馬に乗った兵士になりきって

戦うもの等 VR コンテンツもいっそう充実し、どのブースでも画質の良さと臨場感をアピールしていた。



7. 物販の勢いはやや減少、コスプレモデルは引き続き増加

物販ブースのみが集められたエリアが設置されたものの、前回に比べるといささか勢いは落ちた様子。等身大クッションや福袋、いわゆるファンシーグッズを販売する雑多な店が減った代わりに、プラモデル、フィギュア、アニメの公式グッズを扱う専門店が増え、年々キチンとしてきているようだ。ガチャガチャは日本円で1つ450円ほど、福袋は1つ1,500~3,000円ほど、プラモデルは1万円を越えるものも多い。どの店も賑わっていたが、大きな袋をいくつも抱えるような来場者は去年ほど多くない印象を受けた。





数年前にコンパニオンの過剰な露出を禁止する通達が出されたことから、ずらりとステージに並ぶ美女たちは今年も露出は控えめ。グッズのばらまきも年ごとに減り、試遊した数に応じた景品交換が一般的になってきている。一方でコスプレ姿のモデルを使うブースは回を重ねるごとに増えており、特にキャラクターに扮した外国人モデルとの写真撮影はどこも大人気だ。



- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は2017年8月1日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776